

手を触れないから気分さわやか

タッチフリーサニタリーボックス

Touch-Free
Sanitary Disposal System

汚物入れに触れずに自動で開閉！

汚物が直接目に触れずに快適

大容量なのにスリムでじゃまにならない

QRコード
使い方を動画で確認！トイレ診断士
芸人

第6回

佐藤満春のトイレな話 シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

Eテレ「バリバラ」に出演してきました

皆さんこんにちは佐藤満春です。通称「トイレ芸人」なんて名乗って活動していたところ、様々なお仕事をしていて、ありがとうございます。その仕事は、こういったところで書かせていただくコラムをはじめ、TV、ラジオ出演、講演会など多岐にわたります。いよいよ「何者なのか」という話になってきた感もございます。

昨年Eテレの「バリバラ」という番組に出演させていただきました。「障害者情報バラエティー」ということで、マイノリティの方々の目線から語られるトーク番組です。その回のテーマが「トイレ」ということで呼んでいただきましたが…思っていたより悩みは深刻!!そして皆さ

ん明るく、パワフルでした。

多目的トイレが増えてきたとはいえ、ある大きさの車いすの方にとっては入りにくかったり、手すりが冷たく感じる素材だと手すりを持つことすら難しかったり…。僕が見てきた「マイノリティの方が使いやすいトイレ」はあくまでも私自身で勝手に推測したものであったのではないかと猛省いたしました。そういう意味で本当に有意義な番組になり僕にとっても貴重な経験となりました。

ただひとつ、今もなお思うのは「いよいよそういったことが語られる時代になった」ということなんです。メーカーさん、行政、技術者さん、みんな努力しています。日本はトイレ環境が世界から比べても群を抜い

ハネオくん 間違い探しクイズ!

上と下のイラストに違うところが5つあります。

ハネオくん久々の登場です!雨の日の学校帰り、ハネオくんがカタツムリをみつけたようですよ。カタツムリもおしっこするのかな〜?

間違いは全部で5箇所。
あなたはいくつ見つけられますか!?

正解は編集後記の下に掲載しています。

佐藤 満春 (さとみちはる)

お笑いコンビどきどきキャンプの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりをみせ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自他共に認めるトイレ好きである。名譽トイレ診断士



て素晴らしいです。だからこそ、ようやく、少数派の皆様まで目が届く時代になったのだと考えています。世界にはまだ屋外排泄をしている人や、下水道が整備されてない地域に住んでいる人もたくさんいます。だからこそ日本は世界のモデルケースとなり、トイレ先進国ニッポンとして誰もが使いやすいトイレ環境を目指すべきではないかと考えています。

是非とも皆さんもチャンスがあれば身近な人と語り合ってみてください。それこそが「トイレ先進国ニッポン」への地道な一歩であると思います。

以上、お笑い芸人のコラムでした。笑いどころは一切ありませんでしたね(笑)。

編集後記

「便女の会」という集まりの第1回目の会合に参加してきました。「トイレを良くしたい」と願う女性たちが集う会です。トイレの商品開発に携わる方や、トイレ好きの女子大生まで十数名が集結。初対面でも「トイレ」という共通項で意気投合。熱いトイレ談義が繰り広げられました。我こそはと思う女性の方、ご参加お待ちしております!

ハネオくん 間違い探しクイズ!

こたえ合わせ

- ・カタツムリの殻
- ・ランドセルのてるてる坊主
- ・レンガの塀の色
- ・ハネオくんの長靴
- ・傘の先端部分



ちょっと簡単だったかな?
次回もお楽しみに〜。

あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル 0120-57-1110



特集 今こそ落とそう! しつこい水垢

便器や洗面台にいつのまにかついてしまう水垢。こびりついてなかなか落とすことができず、諦めている方もいるかと思いますが。しかし諦めるのはまだ早い!その便器、新品のようによみがえらせる方法があります。ぜひご覧ください。

■そもそも、水垢とは?

便器や手洗い器などの衛生陶器で発生する水垢は、洗浄水に含まれるケイ酸やミネラル分などによるものです。陶器表面が濡れたり乾いたりを繰り返すことで、これらの成分が空気中の酸素や二酸化炭素と結合して固形となり蓄積します。カルシウムやマグネシウムが多いと白く、井戸水や地下水を洗浄水として使用している場合は黒く、赤錆を含んでいれば赤く、など、水中の含有物によって見た目も違ってきますが、いずれも放置すると非常に頑固で落ちにくい汚れになります。

■水垢の落とし方

水垢を落とすには便器表面が傷つかないように目の細かい「ポリネット(耐水ペーパー)」で物理的に研磨します。ポリネットに水をつけ、便器表面のガラス質にできるだけ傷がつかないように慎重に丁寧に磨きます。根気と体力がいる作

業になります。「そんなことしないで、水垢が簡単に落ちる薬剤ってないの?」という声が聞こえてきそうですが…実は、あります!しかし水垢を化学的に分解するような薬剤を使うと、陶器表面のガラス質まで溶かしてしまい、陶器の表面はざらざらで光沢もなくなり、再度コーティングしないと汚れもつきやすくなってしまいます。ずっと綺麗な状態を保つためには、薬剤よりも研磨が適していると言えそうです。

■水垢の防止法

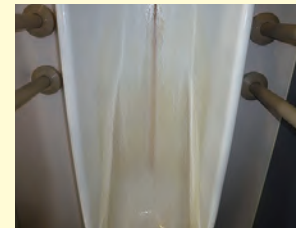
学校の体育館のトイレなど、あまり使われていないトイレは便器内の水が長い時間流れずに留まっているため、必ずと言っていいほど水垢がついています。

もし、あまり使われていない便器があれば、1日1回程度水を流すことが水垢防止策になります。通常の頻度で使用する便器なら、やはり水垢が強く結合され

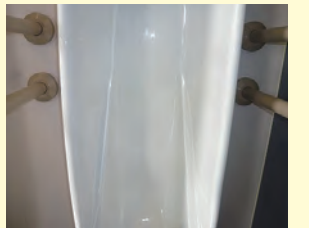
る前にこまめに清掃するの 手洗いなどの濡れている部
が一番の防止策です。中性 分はこまめに乾拭きするこ
洗剤等でお手入れをして、 とで水垢を防止できます。

水垢作業前と作業後

小便器



Before



After

大便器



Before



After

洗面器



Before



After

クワンク



Before



After

使ったのは……



『ポリネット800・1000』
黄色(800)…ハードタイプ
ピンク(1000)…ソフトタイプ

黄色できつい汚れを落としてからピンクで仕上げることで効率よく水垢を落とすことができます。



※ポリネットや水垢除去についてのご相談は担当者までどうぞ。

文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介します。

第25回

絵解き世界のおもしろトイレ事情

アジア編

ブルネイ

ゴールドの好きなこの国のロイヤル・ブルネイ航空のファースト・クラスに乗れば、座席の金属部分も金、機内トイレの壁も一面金箔が貼ってある。

ボルネオ島のうちブルネイ(北)側は世界有数の石油産出国で、その利益のおかげで街はメチャクチャ綺麗。外国人労働者も優遇されているから、天国みたいところだ。当然掻っ払いなどブッソウなこともなく観光客も安全。但し、トイレだけはイスラム式、メッカに頭を向けない、お尻も向けない直角しゃがみ式である。もっとも家相だって同じだが、キッチンと測量しているわけでもあるまいし、大体方角が合っていればよろしい、という感じである。

しかし一歩、水上集落へ足を延ばすと、トイレは床の穴から、あおいあおい水面にドボンという方式である。



マレーシア

都市部と農村部とでは、トイレも同一には論じられない。スバン国際空港のトイレは、**右の写真※**のごとき水洗式だが、田舎へ行けば高床式の床の奥に穴があって、床下に放し飼いにしているニワトリを見ながら、大小ともストレートに落とす場合もあるし、大便だけは屋外で過当に、という所も見られる。この国は豚肉を食べない回教徒が多いせいか、インドネシアの農村で驚いたように、ブタにお尻をつつかれることはない。

なお、「トイレはどこですか」というのは、マレー語で「ディマナカ ビレタン ダス」といえば良い。

やや専門的な話になるが、首都のクアラルンプールにある地方政府省の提供された資料によると、1970年には旧式のかわや式トイレが8割近くだったのに、1985年には浄化槽と簡易洗浄トイレが約7割に達し、古いトイレは次第に減少しつつある、との由。1991年、ホンコンで開催された国際トイレ・シンポジウムでも、マレーシアからはトイレに関して大変に熱心な代表が数名出席されていた。



自然豊かなマレーシア 鈴木一吉氏提供



※ 小川清氏撮影

モンゴル

この国のステップ(草原)地帯で遊牧生活をしている人たちが用いる、ヒツジの毛で作ったフェルトの天幕式住居を、中国人たちは「バオ(包)」と呼ぶ。しかし、モンゴル語では「ゲル」という。

一般に木製の骨組みにフェルトをかぶせた独自の円形状家屋で、重さは約三〇〇キロ。この組立に要する時間は僅か二時間ほどで、夏は涼しく、冬はストーブを用いて、厳寒の季節も割合に楽に過ごせるらしい。ただし、残念ながら内部にトイレの設備はない。

しかし、一般外来客がランチなどを食べられる様なホテル直営の観光用ゲルでは、地面に深い穴を掘ったトイレを見掛ける。中国と違ってドアがあった。

なお、日本では野原でする場合には、「花摘み」とか「雉射ち」などというが、モンゴルでは、さすがに馬の国らしく「モリ・ハルナー」、つまり「馬を見に行く」という由。また雨のことは「ポツ」か「ポツン」で、どこか似たような表現だと思いませんか。蒙古ではポツポツ降ることはあっても、どしゃ降りは余りないらしい。そこで一般的には、広々とした草原にしゃがみ込んで、のどかに野糞を楽しめばいいのだ。

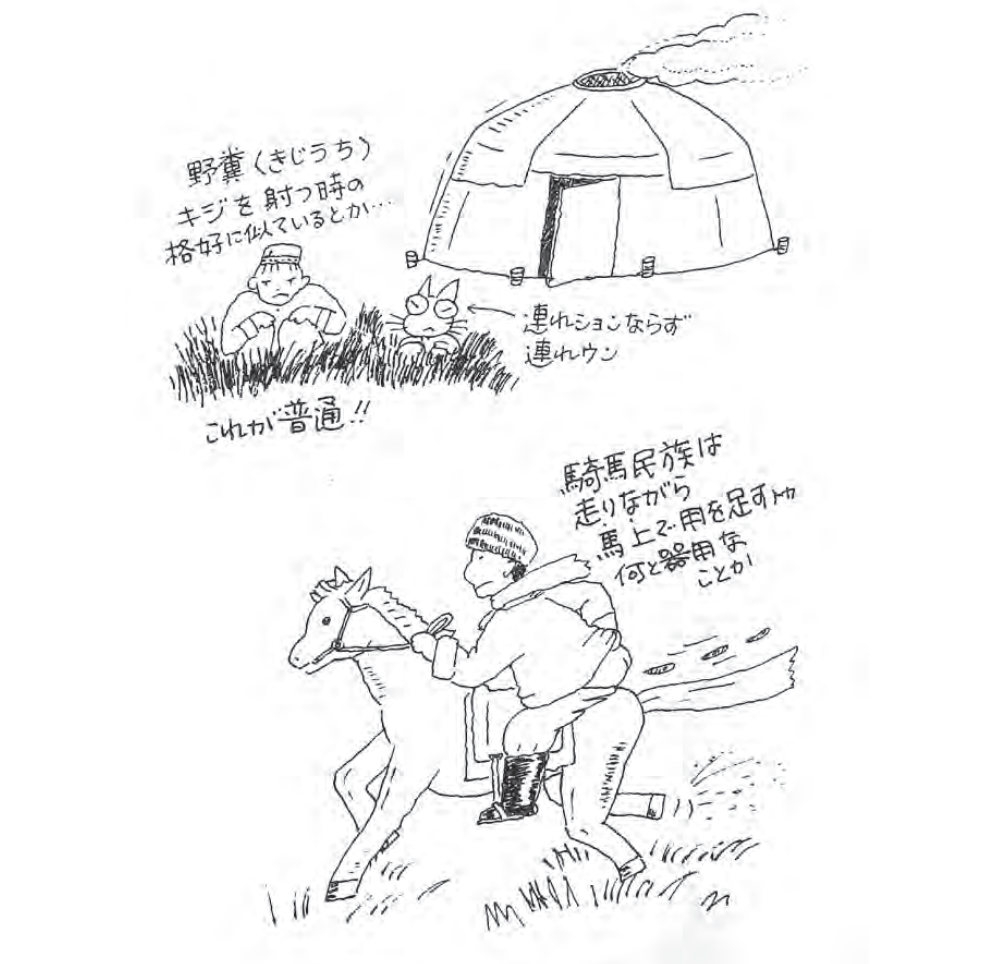
ただし、一人前の騎馬民族となると話は別で、馬も馬上の人も、草原や砂漠を走りながら脱糞できなければ敵にやられるので、つまり馬の手綱を片手でしっかり持って、他方の手でズボンを手前にたぐり降ろしながら、お尻を馬の左右どちらかに突き出して用を足す。こんな芸当は、想像するだけでもおもしろい。

わたしは先年、『東西南北右左』と題する妙な図書を出版した。その中で、ヒトが幼児を胸に抱く場合に、幼児の頭を左側にするものと、右側にするものとどちらが多いか、それは何故かといった心理学者や人類学者の説まで述べたあげく、欧米でマリア様がキリストを抱く絵画や彫刻がどうなっているかまで気にした。その結果、画家たちは学者の議論などどうでも良く、周囲のバランス感覚を大切にしているらしい、なんて書いてしまった。

しかし、騎馬民族が馬の左、右どちらにお尻を突き出すか、残念ながらそこまで調べが行き届いていない。好奇心の旺盛な方は、ぜひ調べてご教示願いたい。

モンゴル人民共和国では、首都のウランバートルの様な都会に生活しているモンゴル人達でも、今でも伝統的な「ゲル」の生活が恋しいらしい。ゲルに深い愛着があるのか、休日には郊外に出掛けて、懐しいゲルの天幕内で、香ばしいヒツジの焼肉、日本でいう「ジン

ギスカン鍋」を楽しむ。近年の考古学的発見には目を見張るものがあるが、いずれジンギスカンたちが砂漠に落としたコブライト(糞石)が発見され、その食生活が解明されるかも知れない。地質時代の恐竜の卵より身近な時代なのだから。



【出典】 絵解き世界のおもしろトイレ事情 (75頁から83頁より転載)
発行所：日地出版
著 者：西岡秀雄
発 行：平成10年10月